

よらいいや
よらいいや

公民館



青谷って 最近元気ねえ!!

とよく言われます。かみじち史跡公園がオープンし、青谷さんぽフェス、青谷音楽祭、ようこそまつりの花火と、今までやっていなかったことが次々と実施されています。町外の人が青谷を訪れるなんて珍しかったのに、最近は事業の度に普段は見ない人が歩く姿を見かけるようになりました。青谷小も青谷中も青谷高校も、いろいろな行事や受賞でよく新聞に載っています。

先日も仕事関係の市内の方が、「青谷には最近よく行くようになりましたよ。」と話しておられました。良いことですね。

青谷は観光地ではないけれど、観光スポットはたくさんあります。徐々に上げられた打ち上げ花火のように、普段は静かで落ち着いた町に、時々町外の人を呼び込んで、青谷の町の良さを知ってもらうのは良いことだと思います。住みたいと思ってもらえるとさらにいいですね。



とくさんの畑日記



大根 意地の4回目!!

2か月連続で大根の不出来に関する記事を書きましたが、何と3回目の種蒔き後も虫にやられ、育ちませんでした。もう、こうなったらとことん大根を作るぞと「意地の4回目」を蒔きました。ちょっと寒くなってきたので、地面の温度を上げた方がいいのかなと考え、種を蒔いた畝にマルチを被せてみました。これで地温が上がるので、取りあえず芽は出るだろうとは思いました。でも失敗してはいけないので、横にマルチをしない普通の畝も作りました。さて、結果は・・・。

1週間後、マルチを開けてみてびっくり。大根のはずが「カイワレ大根」になっていました。そうです、日光に当てなかったので、カイワレ大根のようになってしまったのです・・・。

でも、普通に種を蒔いた畝には、小さいけれど芽が出ていました。

どちらの大根が大きくなるか、1月号をお楽しみに!



マルチを長くつけ過ぎたためにカイワレ大根のようになっただ根の芽。うーん・・・



普通に蒔いたら1週間たってこの大きさ。さて、今後はどう育つのか?

シリーズ 知っていましたか、青谷のこと?

青谷ようこそまつり 打ち上げ花火の舞台裏

例年は「青谷ようこそ夏まつり」として開催していたものが、今年は秋に「青谷ようこそまつり」として花火も打ち上げられました。特に花火がとても良かったという声があちこちで聞かれたので、花火の打ち上げがどのようにして行われたのか、舞台裏を調べてみました。

実行委員長は川内悟司さん(田原谷)で、鳥取市西商工会青谷活性化委員会の青谷ようこそまつり実行委員会が中心となって開催しました。メンバーから、「今年は青谷かみじち史跡公園もオープンしたことだし、花火を上げてはどうか」という話が出て協議した結果、このように実現したそうです。



美しい花火が上がり、会場は大盛り上がりだった

凄かったこと

★青谷インターへのアクセス道路上を全面通行止めにして、道路から打ち上げた!

花火を上げる業者から『町中^{まちなか}で上げてはどうか』と提案されたことからこの企画が始まったそうです。近くで米作りをしている方は、火事になったり灰をかぶったりしたら困るので不安です。そのため、稲刈りが終わる10月末開催になりました。近くの家をお願いして回ったり、消防署や消防団に協力を要請したり・・・と大変だったそうです。

★よく道路使用許可が下りた!

警察署に道路使用許可を申請に行ったことがある人なら分かると思いますが、毎年やっている祭や駅伝でも、かなり面倒な手続きをしないと許可は下りません。道路から花火を打ち上げるなんて簡単に許可が下りるとは思えません。実行委員長川内さんの、とんでもない努力の賜だと思います。

★消防署、消防団もたいへん!

地元消防団が快く引き受け、よく動いてくださったそうです。水をまいたりすぐに出動できるように待機したりと協力してくださったそうです。いろいろな方のお陰ですね。

来年に向けて

★川内さんは、評判が良かったのでできれば来年も花火を上げたいが、協賛金があったからできたことなので、お金の面でも協力してほしいと語っておられました。

おわりに

青谷小学校と中学校とで「みらあおプロジェクト」という事業を行っており、1年間の活動を11分間のDVDにまとめています。小中学生の活動のまとめですが、青谷の全住民に観ていただきたい内容です。とても上手に仕上がっているので、何かの機会に観ていただきたいと思います。私たち大人に負けないうらい、小・中学生も青谷のことを真剣に考えていることが分かります。